

サンフランシスコ視察の感想

ガバナンス7期
山縣

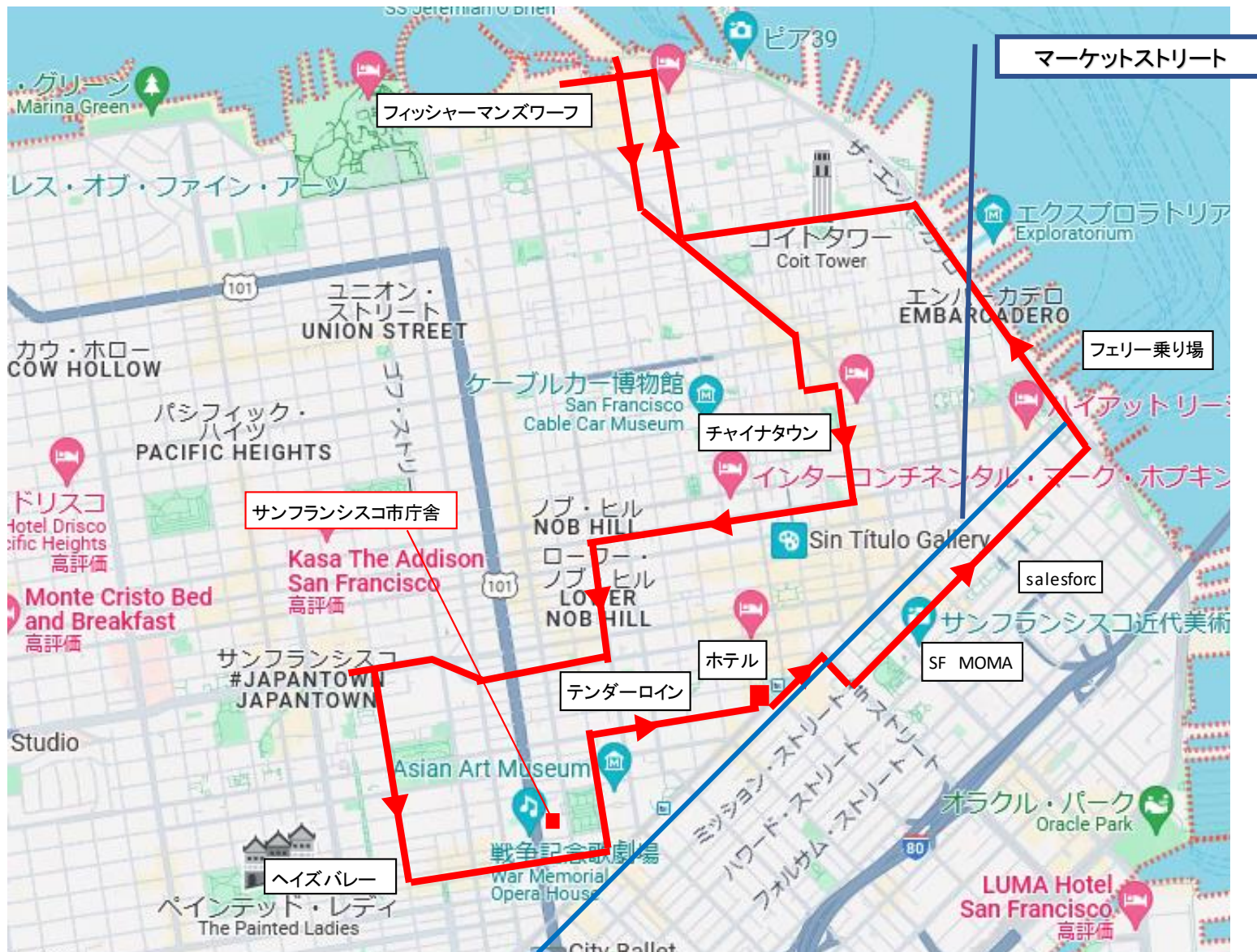
◆事前学習で提示した犯罪が多発する地域



出典：在サンフランシスコ日本領事館

- ①テンダーロイン地区(ホテル)
- ②ウエスタンアデーション地区(ジャパントウンなど)
- ③サウスオブマーケット地区
(トレーダージョーズ、SFMOMA、長距離バス停、コンベンションセンターなど)

◆ルートその1



◆ホテルの東側

○ユニオンスクエア



○ケーブルカー乗り場



○ホテルからユニオンスクエアまでの通り



○ジョンズ・グリル



観光客が多く安全？大晦日にセキュリティが万引き犯を捕まえて、商品を返却させる現場を目撃

◆ バイエリア・チャイナタウン・日本人町①

○フェリーターミナル



○フェリーターミナル



○フェリーターミナル



商業施設・レストランが多く、
観光客や住民が多く、安全な
場所との印象を持った。

◆ベイエリア・チャイナタウン・日本人町②

○Coit Tower



Coit Tower : 1933年に建造。地上64mの展望台。サンフランシスコのシティセンターやアルカトラス島を見渡すことができる。

メキシコ？ 中南米系の観光客が多かった。周辺は閑静な住宅街。

◆ベイエリア・チャイナタウン・日本人町③

○フィッシャーマンズワーフ



○フィッシャーマンズワーフ



○チャイナタウン



○日本人町



商業施設が多数あり観光客が多かった。日本人町内の商業施設は大混雑。

◆ヘイズバレー



ヘイズバレーはウェスタンアディションの一角にある、魅力的な再開発地区。ヘイズストリートには、デザイナー ファッションを扱う高級ブティックやインテリアの店、デザートショップやしゃれた酒場、そしてさまざまな流行のレストランが集まっている。住民同士自ら運営するコミュニティ ガーデンや、アート展示のある小さな公園もある。

◆市庁舎周辺

○市庁舎



○美術館

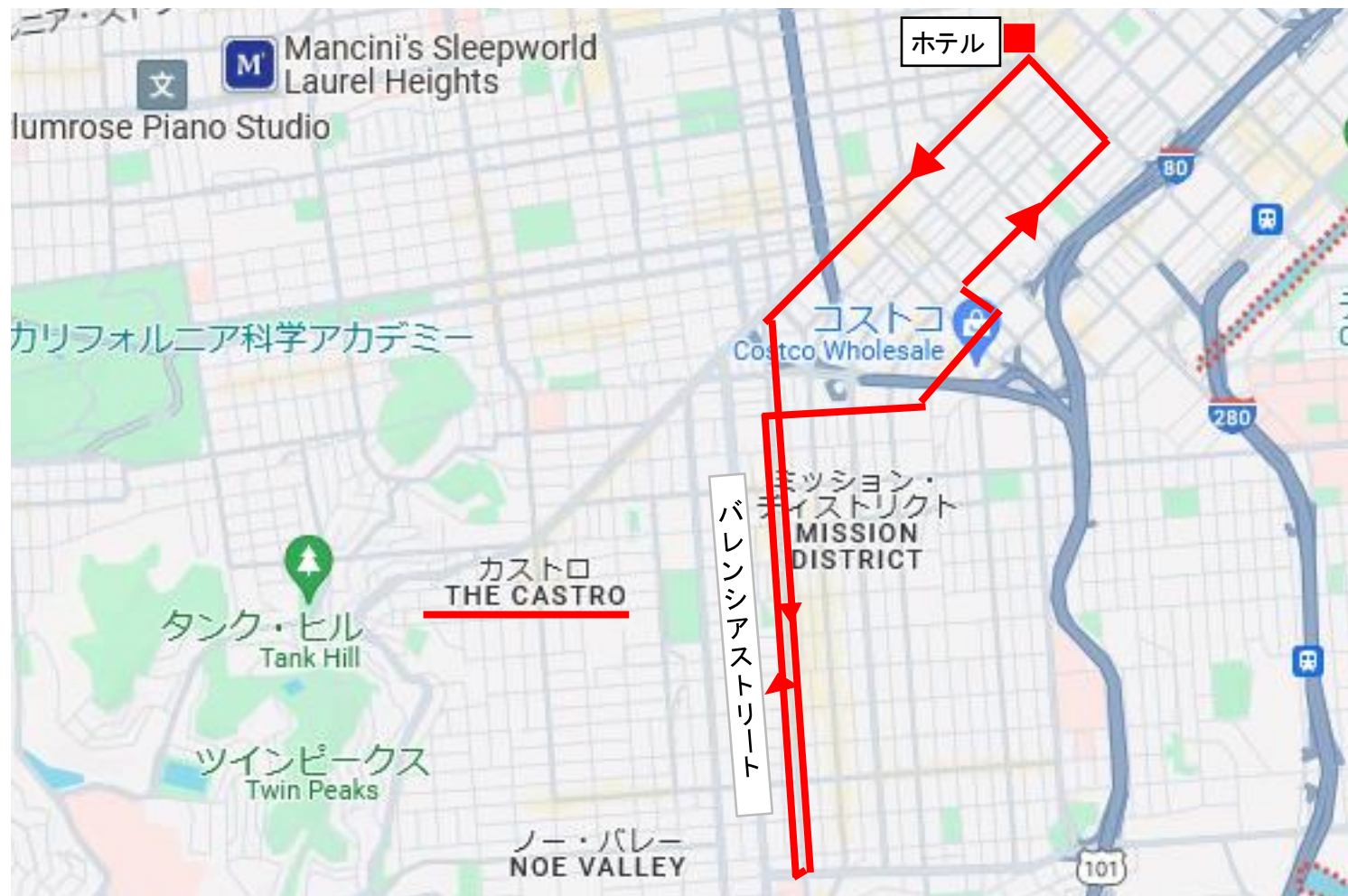


◆テンダーロイン地区



霧囲気が湿っている。いろんな臭いがする場所。近寄りたくない。

◆ルートその2



◆バレンシアストリート（その周辺）



ミッション地区は、1776年にフランシスコ会の修道士によって設立されたサンフランシスコの歴史的なエリアです。1960年代には、ラテンアメリカからの多くの政治難民や移民がこの場所に流入し、この地域はラテン風になった。古着屋やタトゥーパーラー、カフェなどでにぎわっている。バレンシアストリートを東に外れると、コストコや業務用スーパー、ワイン専門店など大型の店舗が点在。



◆まとめ

○サンフランシスコに行って感じたこと

- ・観光客または買い物客が多く、事前学習で感じた程の恐怖感は感じなかった。
- ・観光客などが多い場所ではスリや置き引きが多くなるのは当然と感じるようになり注意していれば問題ないと思った。報道が少し強めの表現になっているのか（以前のサンフランシスコを知らないため、実際に行ってみてそのように感じた）
- ・普通の路上生活者に関しては恐怖はなかったが、薬物中毒のような症状の路上生活者に関しては恐怖を感じた。
全裸で歩き回る者、上半身裸で暴れる者、鉄パイプを振り回す者。とにかく行動が予測できないことで恐怖を感じた。

○その他

- ・実際、空き店舗は多く、テnderロイン地区を中心としたマーケットストリート付近には路上生活者が多く、夜になると大麻の香が漂っており、これに関しては事前学習通り近づくべき場所ではなかった。

ご清聴ありがとうございました